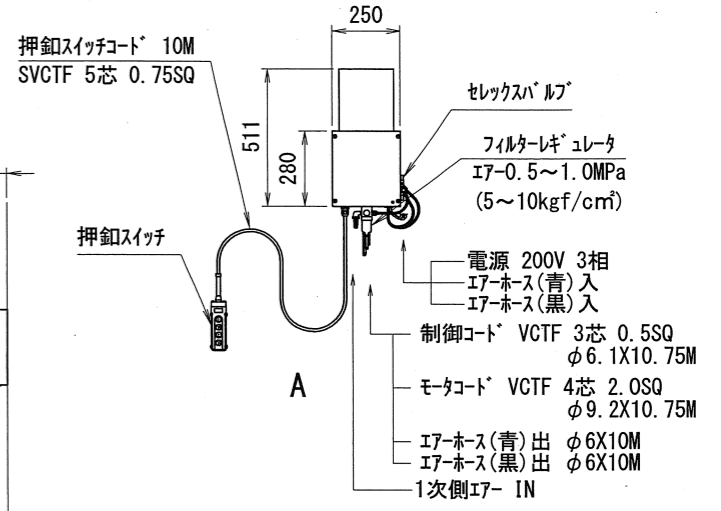
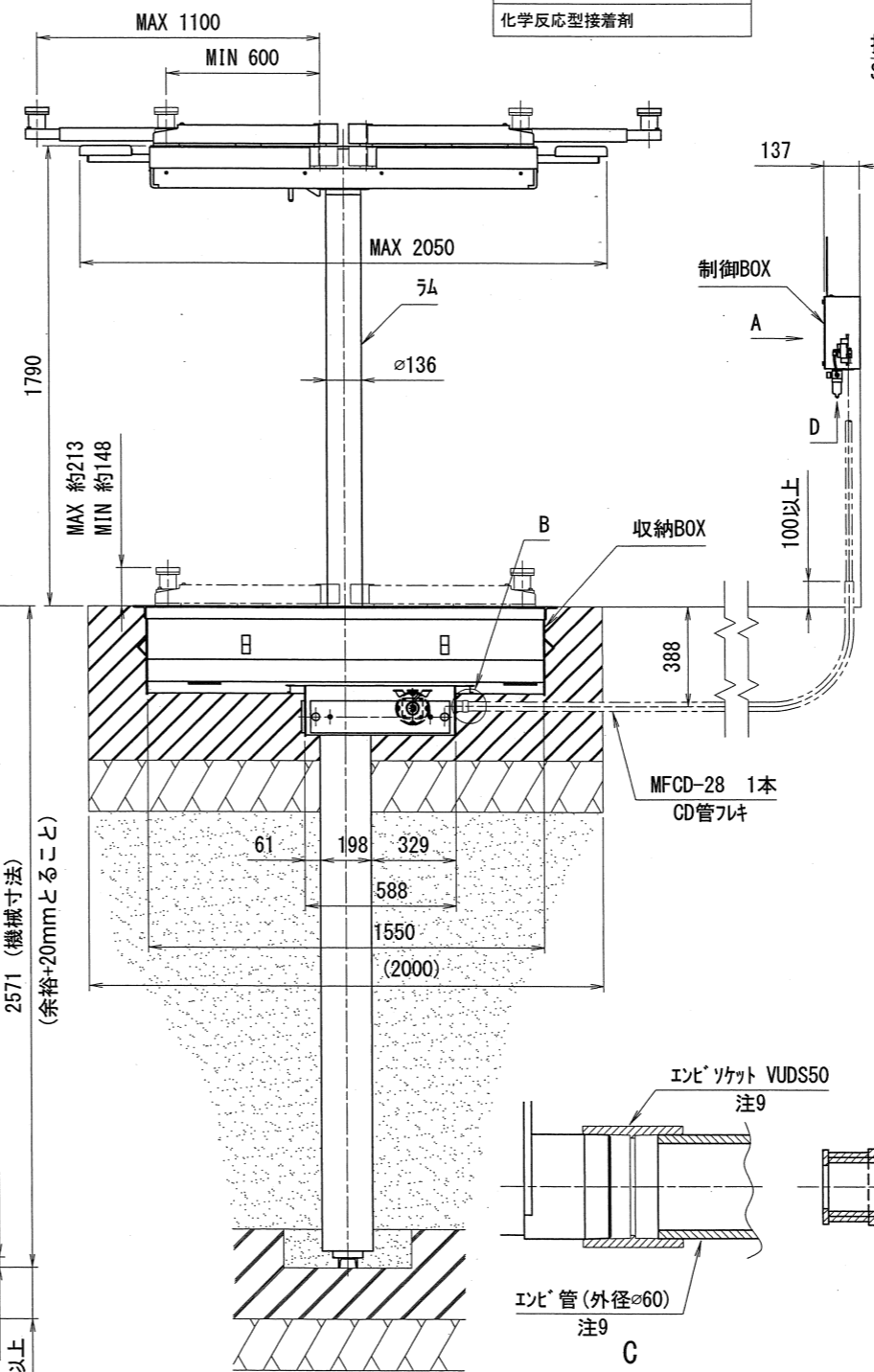
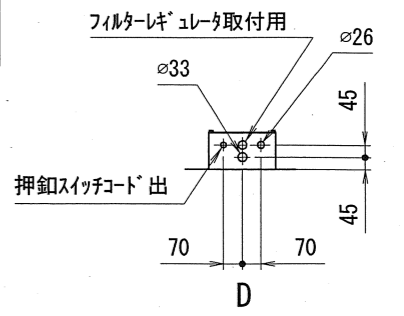


仕様	
型式	NNZ32PUAJ
能力	3200kg
揚程	1790mm
上昇時間(50Hz)	約65秒(3200kg負荷時)
上昇時間(60Hz)	約54秒(3200kg負荷時)
下降時間	約33秒(3200kg負荷時)
モータ	2.2kW 3相 200V
駆動方法	電動油圧式
操作方法	押釦SW(操作電圧24V)
リフト芯間	1650mm
油量	12L(ISO規格VG32油圧作動油)
エア圧	0.5~1.0MPa(5~10kgf/cm <sup>2</sup> )
機械自重(リフト)	1910kg
車両重量(含衝撃荷重)	3840kg
総重量	5750kg

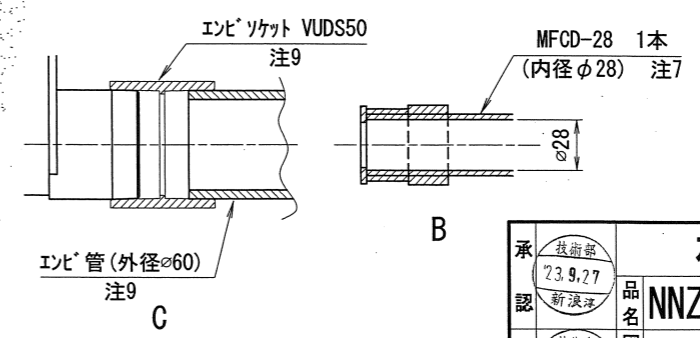
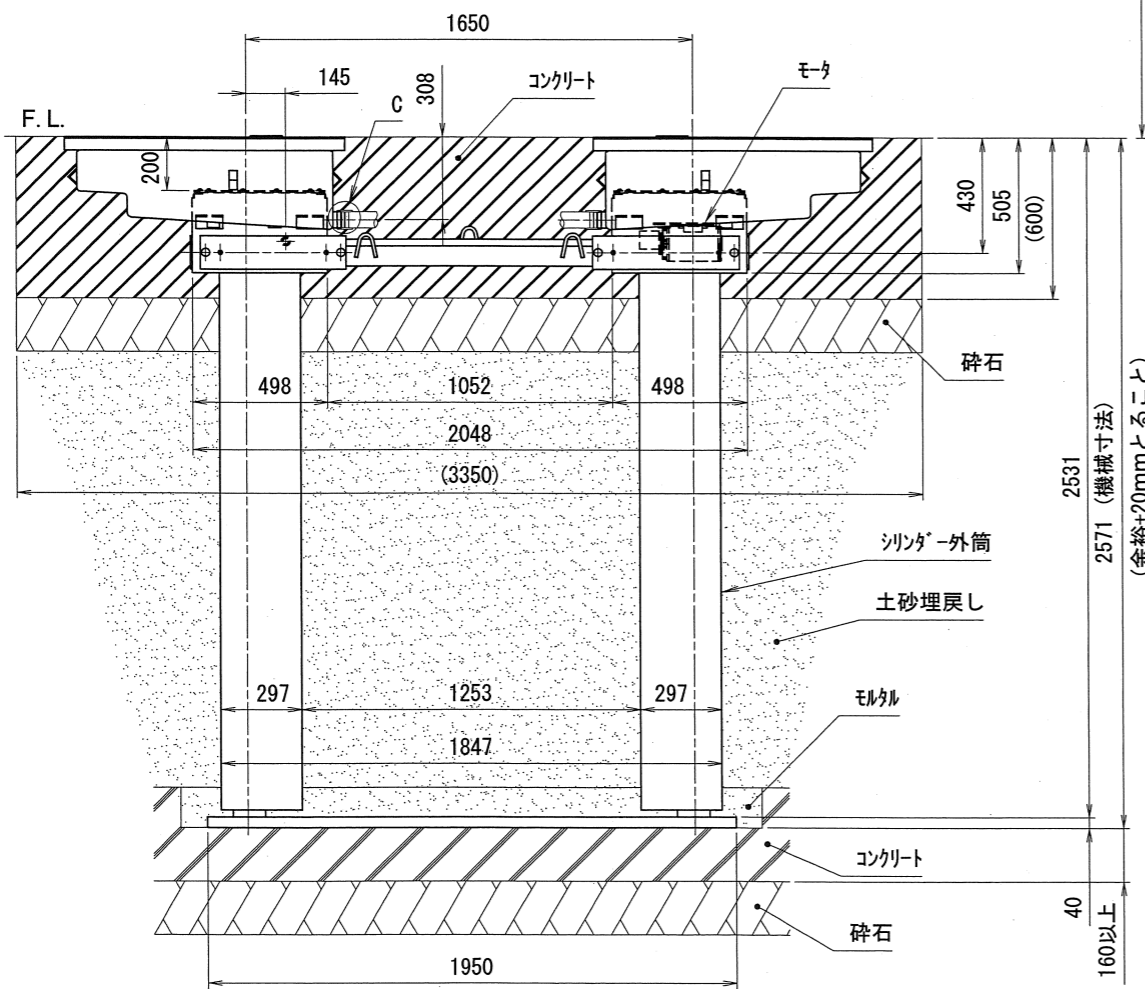
工事内容及び施工内容		
工程	工事内容	建築
1	墨出し・根伐・掘削・型枠・基礎コンクリート工事	
2	リフト組立及び据付け工事	
3	モルタル及び土砂埋戻し工事・残土処理	
4	CD管配設・手元開閉器及び通電工事	
5	土間コンクリート打設・床仕上げ工事	
6	制御BOX・連絡線接続・試運転	

現地手配品	
排水用エビ管(外径φ60)	
エビ管用ソケット(VUDS50)	
配線、エア用CD管(MFCD-28)1本	
電源用コード 4芯 2SQ以上	
1次側エア配管3/8以上 0.5~1.0MPa(5~10kgf/cm <sup>2</sup> )	
化学反応型接着剤	



**注意**

1. 7φ頂部に水平器を置き、前後左右の傾きを調整して下さい。傾きがある場合には再調整して下さい。又、収納ボックスも7φに対して直角になるようバルブ調整して下さい。
2. 基礎工事のコンクリート工法及び寸法は、地盤の強弱により異なりますのでシリンダー底面に合計6トンの圧力が加えられても亀裂、破損、沈下等、起こらないよう施工のこと。
3. 図面の寸法は機械寸法の為、基礎の寸法は十分余裕をみて工事を行って下さい。( )内寸法は参考。
4. ケースが脱着の際、リングを損傷しない様にして下さい。
5. 本体、制御ボックス間は、9m以内のこと。
6. リフト上部の天井高さは、乗用車(ワゴン・トラックは除く)をリフトアップするものとして最低4000mm以上とすること。
7. CD管フレキは本体に付属していません。
8. 排水処理をして下さい。
9. エビソケット及びエビ管は、本体に付属していません。接続は、化学反応型接着剤を塗布のこと。



出図  
23.9.28  
技術部

株式会社スギヤス														
品名 NNZ32PUAJ設置図														
図番 NNZ32PUAJ -022000-10														
承認	73.9.27	新渡	品名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	日付	2023/09/11
検	73.9.27	新渡	図番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	尺	FREE
製	石川恵													
図	A2													

訂正	年月日	記	事	担当承認
----	-----	---	---	------